

目次

■平成29年第2回定例会【6月】

一般会計補正予算……………	2
提出議案・契約案件……………	3
陳情……………	3
議案に対する主な質疑……………	4
一般質問……………	5～11

■議会トピックス……………12～13

■第1回臨時会……………14～15

■議会だよりギャラリー …… 16

しほぎ

下郷町 議会だより

平成29年8月
第80号

大昔のくらしを見て 触れて 体験したよ



榎原小学校の3学年行事は、白河市の「まほろん」において、粘土で土鈴・土笛作りや火おこし体験などにチャレンジしました。

平成29年度 一般会計補正予算(第1号) 否決!

6月 定例会

多目的交流施設等設計に異論

一般会計補正予算原案の総務費(企画費)にある多目的交流施設等設計委託料2,200万円、湯野上地域整備事業実施支援業務委託料507万6千円について異論。

湯野上地域整備計画に町民の幅広い理解が必要、地域整備に対する湯野上地域の機運を高めていくことが求められるとあるが、機運が高まっているのだろうか。もう少し時間をかけて、将来を考慮し(江川出張所や老人センターなど含め)総合的に検討してはどうか。

観光産業の振興により、地域活性化は、「地方創生のひとつ」もわかるが、町民が本当にほしいものはどんなものか。それは湯野上地区にとっても利益を生むサイクルではないか。これは農業・商工・観光にかかわらず、皆が期待するところではないのか。などの発言があった。

修正動議が出される

▼発議者 湯田純朗議員
猪股謙喜議員

▼修正案 湯野上地域整備事業実施支援業務委託料と多目的交流施設等設計委託料を削除した修正案を提出。(金額2,707万6千円減額)

討論

4人の議員より発言がありました。

▼原案賛成者
山名田久美子議員

湯野上地域整備事業を含めた修正案だと大島地区の整備が遅れてしまう。湯野上温泉駅前の整備計画や多目的交流施設も踏まえて、原案に賛成。

▼原案及び修正案反対者
玉川邦夫議員

町民を含め我々議員に説明不足ではないか。交流人口増加のために多目的交流施設をつくることにまだ納得が得られない。また、湯野上地域整備事業が進められている中で、修正案の支援業務委託料カットは反対。

▼原案賛成者
星輝夫議員

小野地区も整備計画に入っている。小野地区への観光客も増えてきているため、原案に賛成。

▼修正案賛成者
小椋淑孝議員

湯野上地域整備を進める中で、多目的交流施設がなぜ先なのか。建物を建てるより、駐車場や道路整備が先ではないか。湯野上地域ばかり予算が使われる、他地域の整備も行わなければならない。

採決 (議長を除く11名による無記名投票で採決された。)

- 平成29年度下郷町一般会計補正 修正案
否決 (賛成5票 反対6票)
- 平成29年度下郷町一般会計補正 予算案
否決 (賛成5票 反対6票)

提出された議案

【町提出議案】

- ▼ 28年度下郷町一般会計の繰越明許費
- ▼ 専決処分（報告）
 - ・ 損害賠償の額の決定及び和解
- ▼ 専決処分（承認）
 - ・ 税条例の一部改正
 - ・ 税特別措置条例の一部改正
 - ・ 復興産業集積区域における固定資産税の課税免除
 - ・ 国民健康保険税条例の一部改正
 - ・ 28年度下郷町一般会計補正予算
 - ・ 28年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
 - ・ 字の区域の変更
- ▼ 下郷町公園条例の一部改正
- ▼ 消防ポンプ自動車購入契約
- ▼ 雪寒建設機械購入契約
- ▼ 下郷町公営住宅（1・3号棟）建設工事請負契約
- ▼ 下郷町公営住宅（1・4号棟）建設工事請負契約
- ▼ 防災安全交付金（橋梁補修）工事請負契約
- ▼ 29年度下郷町一般会計補正予算
- ▼ 29年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ▼ 29年度下郷町介護保険特別会計補正予算
- ▼ 29年度下郷町簡易水道事業特別会計補正予算
- ▼ 29年度下郷町農業集落排水事業特別会計補正予算

【議員提出議案】

▼ 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出

29年度

一般会計補正予算を除く

全議案可決

※すべて契約方法は「指名競争入札」による。

陳情

◆ 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出

▽ 陳情者

南会津郡下郷町大字沢田字前田乙435

星 新栄 他2名

▽ 審査結果 → 採 択

（総務文教常任委員会付託）

▽ 意見書提出の議決

復興大臣などに意見書を提出することを議決した。

消防ポンプ自動車購入契約

< 湯野上班（3-1）に配置 >

- ・ トヨタダイナ4WD 1台
- ・ 契約金額 2,017万4,400円
- ・ 会津消防用品（株）

代表取締役 佐瀬 良一

雪寒建設機械購入契約

- ・ 14 t級除雪ドーザ 1台
- ・ 契約金額 1,707万4,800円
- ・ コマツ福島（株）

会津支店長 宮野 義和

橋梁補修工事請負契約

- ・ 音金橋梁工事（防災安全交付金）
- ・ 契約金額 8,424万円
- ・ （株）五十嵐建設

代表取締役 五十嵐 博幸

下郷町公営住宅建設 工事請負契約

< 姫川団地 >

① 1-3号棟

- ・ 契約金額 5,400万円
- ・ （有）マルヨ建匠

代表取締役 渡部 一

② 1-4号棟

- ・ 契約金額 5,778万円
- ・ （株）しもごう環境

サービス
代表取締役 齋藤 理

▼下郷町公園条例の一部を改正する条例（パークゴルフ場の使用料）

問 使用料の値上げが200円から500円（中学生以下250円）は、高いのでは。（町民は無料）町民以外の人に利用してもらうには、せめて400円が妥当では。

答 県内施設13ヶ所の使用料を参考に、同じ18ホールで新地町、泉崎村が500円で行っており、妥当だと考える。須賀川市（藤沼湖自然公園）料金は、36ホールで大人520円である。

▼消防ポンプ自動車購入契約

問 ポンプ自動車はMT車なのか、AT車なのか。

答 MT車である。



18 H整備されたパークゴルフ場

問 役場にも、西東京市から頂いたポンプ自動車があるが、距離数があまり乗らないから、最初からスタッドレスタイヤを履いている。今回購入するタイヤは、スタッドレスタイヤと普通タイヤ両方購入するのか。

答 納入予定が冬場になるため、契約段階でスタッドレスタイヤで納入する、普通タイヤは購入しない。

▼防災安全交付金（橋梁補修）工事請負契約

問 当時の橋梁使用時は14t荷重であると言っているが、補修工事を行った上で20t荷重になるのか。

答 現在、14t荷重であるが、調査結果から、20t荷重になる予定。

問 防災安全交付金で足りない財源はどこから出るのか。

答 補助残については、橋梁整備基金を使っており一般財源は使用しない。

問 工事が始まった場合に通行止めになるのか。

答 通行止めにはせず、片側交互通行で施工予定。

▼下郷町公営住宅（1-3号棟）及び（1-4号棟）建設工事請負契約

問 2棟は同じ建物に見えるが、契約金額に差があるのはなぜか。また4社入札とあるが、5社ではなかったのか。



姫川団地イメージ図

答 契約金額に差があるのは、設計額で（1-4号棟）の方が、緑石ブロックや設備ハンドホール等の数が多いため。4社入札は（1-3号棟）は、町内建築業者（1-4号棟）は、設備関係が多いことから、町内総合建設業を指名した。

問 現在の建物は、解体工事をしなければならないはずだが、何処の業者が行うのか。金額も教えてほしい。また、入居者がいたと思うが、どうしたのか。

答 解体業者は、（株）渡部工務所が契約金額22,464千円で行う。入居者は、同じ団地内に仮入居している。

一 般 質 問

町政を 問う

一般質問は6月14日に行われ、6名の議員が登壇し町政を質しました。

次のページより、質問した順に質疑応答を要約してお知らせします。

	質問者	質問要旨	頁
6月14日(水)	星 輝 夫 議員	● 倉村・檜原取水口の早期改修等について [農業用水・生活用水・防火用水等の重要な命の水] ● 下郷町「防犯協会」発足について	P 6
	猪 股 謙 喜 議員	● 地域おこし協力隊について	P 7
	玉 川 邦 夫 議員	● 広報しもごうにもっと気軽に広告を載せてもらえないか ● 給食費の1/3補助は今後どうなるのか ● 住民と行政による協働のまちづくりとは	P 8
	湯 田 純 朗 議員	● 下郷町消防団及び婦人消防隊の現状について ● 各税込、各使用料の徴収率及び滞納額について	P 9
	小 椋 淑 孝 議員	● 町の特産品について ● 消防団員の費用弁償について	P10
	山名田 久美子 議員	● ふるさと納税の活用について ● 今後の着地型ツーリズム推進事業について	P11



“一般質問”は、町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることを言います。



ここを問う

町政

星 輝夫議員の 一般質問

質問

倉檜堰の早期改修を

答弁

関係機関と一体となり 取り組みを継続

況はどうなっているのか。

答

これまでの主な取り組みは、27年度12月に会長である私と役員で南会津建設事務所を訪問し、所長に直接要望活動を実施した。28年9月の総会では、役員より県や町、長野地区など関係者を含む現地視察などについて協議し、同年11月には、長野地区、漁業組合、南会津建設事務所、南会津町の関係者ら総勢45名で現地視察・意見交換を実施した。残念ながら、建設事務所より河川改修実施に向けての回答は、まだないが、

今後も引き続き活動を行っていく。

問

長野地区との連携が今後必要だと考えるが町長の考えを伺いたい。

答

ご指摘のとおり、長野地区との連携は、今後の事業遂行において、最も重要なものにとらえている。今後も、倉檜堰の現状と今後の課題について、情報共有を図っていききたい。

問

地区住民が今後も、農業や不安のない生活ができるよう南会津町と連携を図り、関係機関等に早急な要望及び早期の改修を地区住民のために必要であると考えるが町長の考えを伺いたい。

答

倉村・檜原地区住民の不安解消に向け、南会津町及び長野地区などの関係機関と一体となって、取り組みを継続していきたい。

質問

防犯協会を

各地区に設立しては

答弁

近隣町村の動向を見極め 対応していく

問

本町に「防犯協会」があると思うが、活動の把握はしているのか。

答

活動内容は、各集落での防犯の講話やイベント等での巡回パトロール、金融

問

「防犯協会」を発足し、各地区に設立してはどうか。不法投棄等にも役立つ可能性もあると考えるが町長の考えを伺いたい。

答

郡内町村等の設立状況を調査すると、町主導の「防犯協会」の設立はないようである。今後、安全・安心なまちづくりに向け、警察署からの指導や近隣町村の動向を見極めながら、対応していきたい。



町政

ここを問う

猪股謙喜議員の 一般質問

質問

地域おこし協力隊への
応募状況は

答弁

まだ応募者がいない

地域の活性化と定住促進のため、本事業に対して期待しているところです。

問

募集は、いつから始めるのか。現在の応募状況はどうなっているのか。

答

募集の告知は、町ホームページと地域おこし協力隊の専用ホームページを活用した。募集人員は2名で5月1日から告知したが現在まで応募者はいない。

問

本町の募集要項の書き方では、何んでも出来る人ととらえられ、応募しにくいのではないかと。

答

募集要項の活動内容は、(1)地域の課題やニーズの解決に向けた活動、(2)地域行事及び観光の振興のための活動、(3)農業、商業及び観光の振興に関する活動、(4)地域資源の発

【参 考】

▼改訂された活動内容（7月1日現在）

- (1) 下郷町観光協会でのイベント運営や観光PR、情報発信など
- (2) 滞在型市民農園ラインガルテンでの管理運営補助や情報発信など
- (3) 集落等の住民と協力して行う活動のできる方（集落の環境維持、高齢者の生活支援、地域行事、コミュニティ事業などの地域づくり活動）
- (4) 農作業を手伝いながら、農業技術や経営手法等を取得し就農を目指す方
- (5) 上記以外で、経験やスキル、ネットワーク等を生かし、協力隊として自主的に行う企画活動ができる方

掘、活用と販路拡大等に関する活動、(5)地域の情報発信に関する活動、(6)住民の生活支援等、社会福祉に関する活動の6項目であり、これは先進市町村のものを参考にし、あらかじめ特定の分野を指定しなかった。応募者本人の得意分野や適性を見て活動してもらいたい。

も良かったかもしれない。

問

地域の活性化と定住促進とどちらが主の目的なのか。

答

まずは、地域の活性化に取り組んでもらい、その活動の中で定住に結びつけばと考えている。

問

どこに住居させるのか。また、隊員に定住してもらう空き家等の用意はあるのか。

答

町営住宅や民間賃貸住宅を想定している。空き家の活用も検討している。住民に接した居住も必要と考える。いずれ隊員が決定しだすみやかに手配することになる。



ここを問う

町政

玉川邦夫議員の 一般質問

質問

広報に載せる広告料金を
安くできないか

答弁

周知したい情報があれば
早めの相談を

問

「広報しもごう」に広告を掲載しませんか」有料広告のPRである。

団体がイベントを実施しているが、その宣伝のために広告料を安くできないか。

①この制度による収入はいくらで、何に使われているか。

答

②交流人口を増やそうと、各

①始まって9年経過、2006件の掲載、収入総額二百十五万。新たな財

質問

まちづくりのために
何が大切な

答弁

今後も住民の声を
しっかりと受け止めていきたい

問

協働のまちづくりとして、「政策段階から住民の参加」を、「情報の提示と共有化」を課題にしている。

①座談会が各地で行われたが今後も継続するのか。

②毎年、各地区の要望が出されてくる。ここ3年間の要望は何%程解決し、解決さ

れない事項はあるのか。

答

①直接住民の声を聞き、現状理解を図ることができた。事業を円滑に進める上でも座談会は必要である。

②要望総数558件、解決67%、県へ要望14%、検附中19%。予算配分や要望順位から保留のものは、その旨を住民に説明している。



楽しい給食の時間（旭田小学校）

質問

給食費1/3補助は
今後どうなる

答弁

就学援助制度の拡充を
積極的に行う

源確保が目的なので、有効活用できる事業があれば充当を検討したい。

②各団体のイベント事業は、お知らせ情報で周知を図っている。周知したい情報があれば早めに相談してほしい。

問

学校給食の無償化は、全国に55市町村。2子、3子以降無償とか、1/2補助というところも出ている。

①本町も給食費1/3補助で注目されている。今後さらなる補助を目指していくのか。

②教材費も含めて完全無償化されている町もある。本町での新たな構想はあるか。

答

①財政状況や子育て支援策の効果を把握して、1/2や無償の拡大を検討していく。

②町単独で準要保護の児童生徒に給食費・修学旅行費の全額補助や通学費等への補助をしている。今後も少子化対策として十分検討していく。



町政

ここを問う

湯田純朗議員の 一般質問

質問

出動手当を見直す考えがあるのか

答弁
今後十分に検討していく

問

消防団・婦人消防隊の
団員・隊員数等は。

答

27年団員359名、入
団10名、退団23名、28
年団員347名、入団9名、退
団21名、29年団員337名、
入団10名、退団20名である。
隊員は27年256名、入団
5名、退団34名、28年220

答

広報誌などに掲載し募
集のほか、消防団幹部
等が自ら地域に出向き勧誘活
動など団員確保に向けた活動
を実施。また、団員の大半が

問

団員・隊員ともに減少
しているが、団員確保
の取り組みを具体的に。

名、入団14名、退団50名、29
年207名、入団4名、退団
17名である。

問

事業所等に勤める被用者で、
団員が消防活動を行いやすく
できるよう勤務先に対し、企
業訪問を行い消防活動にご理
解とご協力を頂いている。

答

消防団幹部・団員の報
酬等の見直しは、町非
常勤特別職報酬、消防団報
酬、出動手当の関係も関連が
あるので、今後十分に検討し
ていく。

質問

本当に法的手段をする考えがあるのか

答弁

書類等を整備しなければ 法的手段ができない

問

各種税金及び使用料
(団地ごと)の滞納状
況や対策は。

41万円、国保税8524万
円。対策は、徴収強化、財産調
査のうえ差し押さえ等の執行
である。

答

滞納額は、町県民税約
613万円、固定資産
税約4875万円、軽自動車
税約78万円、法人町民税約

住宅使用料の滞納状況は、
刈合団地約2949万円、姫
川団地約1094万円、下中平
団地約1025万円、落合団地

約712万円、湯野上団地約
389万円。対策は、滞納者状
況調査、督促状や催告書の発
送、臨戸訪問による納入指導で
ある。また、条例等に基づく法
的措置等を視野に、使用者負
担の公平性確保に努める。
水道使用料の滞納状況は、
刈合団地約479万円、姫
川団地約169万円、下中平
団地約228万円、落合団地
約115万円、湯野上団地約
20万円となる。対策は、督促
状及び未納通知書等の発送、生
活実態や所得・収納状況を鑑み
臨戸訪問。本年度は要綱による

問

法的手段や滞納状況
を処理してからと言わ
れるが、この前もそのような
答弁でした。時間がかかるこ
とはやむを得ないが、本当に
法的手段をやる考えがあるの
か、ないのか。

答

書類等に不備があり、
整備しなければ法的手
段ができない。書類整備に時
間を要している。



ここを問う

町政

小椋淑孝議員の 一般質問

質問

町特産品の開発をもっと活発に

答弁

専門家と商品開発に 取り組みたい

発するのはよいが、もっと活発に活動しなければならぬのではないかと。

答

地域の特性を生かした農産物の生産、地産地消など地域ブランドの確立、安心・安全な農産物生産や産地・産品のイメージアップを図り、農業経営所得の向上を目指す。昨年度、町内企業のAIテクノロジーと、エゴマの葉を活かした「エゴマ茶」の商品化に向け試作品の開発などの取り組みを行ったが、商品

問

第5次振興計画に農産物のブランド化推進と加工品の開発とあり、「下郷ブランド商品を開発し、主要な戦略商品として販売拡大を推進する」と施策を位置づけているが、どのような取り組みをしてきたのか。

エゴマ(じゅうねん)は、全

国各地で様々な商品がある。会津地鶏も他町村の方が、多く販売しているのを見ると、町名産品とは言えないのではないか。本町にはその他にも、きのこやちの実など商品開発の余地がある農産品が多々あるが、それらの動きが見受けられない。町と企業とが開

質問

消防団員の費用弁償を 近隣町村並みに検討しないのか

答弁

非常勤特別職日当と消防団日当が かみ合うように検討していく

問

昨年、9月定例会の一般質問で、町長は近隣市町村に合うべき予算を計上すると、はっきり回答され

たが、今年度予算に計上されず、予算特別委員会では、担当課長より消防団以外の特別職との関係から、見直しが必

答

消防団員の出勤手当は、4時間以内の

要なため、今回は見送ったとの回答であった。そこでお伺いする。町長は議会で回答したことの重みを、どのように考えているのか。南会津郡で考えると、他町村は4時間以降、出勤手当が倍になるのに、検討しないのはなぜなのか。

半日の場合、本町2200円、南会津町2100円、只見町3000円、檜枝岐村4200円である。4時間以上の1日だと、本町2200円、南会津町4200円、只見町6000円、檜枝岐村4200円となる。いずれにしても入団者が少なく、団員確保が難しい現状や本業を持ち、消防団に参加し、地域の

消防活動に従事していることを踏まえ、地域の実情を勘案し検討し、非常勤特別職の日当と消防団の日当とかみ合うように、検討していく。



町消防操法競技大会

化には至らなかった。

特産品の開発は、今までも商工会ともやっている。金子牧場の乳製品など、アレンジしたものが開発商品によいものでは。地場産品のみそや肉業者の生産者もおり、それを組み合わせた産品であれば、ふるさと納税の方々も目をつけて買ってくれるのではないかと思うが、専門家の人たちと商品開発に取り組みたい。



町政

ここを問う

山名田久美子議員の 一般質問

質問

ポータルサイトへの参画は
どうなったのか

答弁
今年度当初予算で措置
手続きを進めている

答
平成20年に始まった
ふるさと納税は、下郷
町では当時受け入れ体制を整

町では当時受け入れ体制を整

え実施してきたが、返礼品は
なく礼状のみであった。平成
26年度からは、返礼品を贈る
こととした。ポータルサイト
への参画については、今年度
当初予算において予算措置を
して、手続きを進めていると
ころである。

また、返礼品については、

まだまだ数が少ないと感じて
いる。生産者に還元する考え
を基本に、研究しながら品数
を増やしていく考えである。
在京しもうごう会員や広報誌
の読者へPRし、また7月に
実施する「下郷町魅力発信事
業」でもPRを考えている。

問

昨年12月に実施した
下郷町魅力発信事業
でのPRで、ふるさと納税額
が増加した報告がされた。返
礼金の追加は「下郷町の特産
品」「これでは何してもらえ
かわからないから寄付しな
い」から、「金子牧場セット」
「じゅうねんセット」など具
体的な返礼品とした。以前一
般質問の答弁で、「ポータルサ
イトへの参画も検討」と言わ
れていたが、その後検討され
たのか。また、返礼品の追加は、
新たな特産品・町内施設等
で利用できるクーポン券など
の検討、下郷出身者（在京し
もうごう会員など）や観光宣
伝の場でPR活動など検討でき
ないものか。町長の考えを伺う。

質問

今後の着地型ツーリズム推進事業は
どうするのか

答弁
受け入れ先を研究し平成30年度
には効果ができるように対応していく

問

昨年12月定例会におい
て、着地型ツーリズム
推進事業継続について伺った
際に「財源は、原子力災害対
応雇用支援事業に要望してい
くが、補助がなくても町単
独事業で対応していかねば
ならない。事務局について
は、地域や実行委員会と協
議していく。」と答弁された。

その後、協議はされたのか。
町長に伺う。

答

財源については、平成
29年3月31日に原子力
災害対応雇用支援事業の承認
を受けた。事務局のあり方
については、町の考え方を整
備するために担当課の産業課
に加え総務課も参画し検討会

開催を予定し、実行委員会や
関係者と話し合いを進める考
えである。商工会と十分協議
した成果をさらに伸ばしてい
かなければならない。受け入
れ先については、十分に研究
し、平成30年度には、スム
ーズに効果があらわれるよう
に対応していく考えである。



議会大会を本町で開催 町議会で2題を要望



地域高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進
及び国道289号南倉沢工区の早期完成について

○国直轄権限代行事業（湯野上バイパス8.3km）の事業促進

○田代IC（仮称）と下郷IC（仮称）の間に、新たなICの設置

○小沼崎バイパス1.5kmの早期事業促進

○下郷田島バイパス11.1kmの早期事業促進と落合地区にICを設置

○国道289号南倉沢工区の早期完成

※IC（インターチェンジ）

第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活路線バスへの支援措置について

○第三セクターへの県補助の堅持、新たな国補助の創設

○第三セクター鉄道の大規模災害等に係る国の財政支援措置の拡充

○地域公共交通確保維持改善事業費補助金の補助率アップ

○生活バス路線への財源措置の充実

7月6日、南会津地方町村議会議員大会が、町ふれあいセンターで開催されました。

本大会は、南会津地方の町村議会議員が一堂に会し、町村が抱える諸問題を解決すべく要望事項を提案していくものです。

大会冒頭、大会議長として佐藤勤議長が全会一致で選出され、本町議会からは、2題の提案がなされ、産業厚生常任委員の小椋淑孝議員が提案理由の説明を行いました。

このほか、大会決議及

びふくしま復興・再生に関する特別決議とあわせ、13件の提案事項が全会一致で可決されました。

今後、国や県など関係機関に対して要望活動を行うこととなります。



町議会を代表し提案理由の説明をする小椋議員



大会議長を務める佐藤議長

県町村議会広報研修会に参加 ～もっと身近に もっと読まれる 議会広報紙づくり～



アドバイスをする吉村氏

5月22日、郡山市「ビックパレットふくしま」において、町村議会広報研修会が開催されました。県内40町村から、議会広報編集に携わる議会議員約230名が参加し、本町からは、議会広報常任委員会委員4名が参加しました。

「もっと身近に、もっと読まれる議会広報紙づくり」と題して、全国町村議会広報クリニックスをされている広報アナリストの吉村潔（よしむらきよし）氏を講師に招き、3時間近い講演が行われました。

後半は、「議会広報クリニックス」と題し、実際に県内町村議会が発行している広報紙について、具体例を挙げた的確なアドバイスがなされました。

今後は、私たちの編集した「議会だより」も吉村先生にクリニックスしていただき、町民と議会のより良い架け橋になるような広報づくりを目指していきたいと思っています。

できることから
やってみよう

- 「議会がかわったぞー」と感じてもらえるような広報に。
- 「おやー」と目に引くようなタイトル・見出しの工夫を。
- 議会から町長への政策提言のページを設けてはどうか。
- 定例会の報告だけに終わってないか。
- 対話やモニター制で住民が参加できる広報を目指したい。

県道高隴田島線改修促進期成同盟会総会 ～要望の成果が現れる～



本年度の事業概要

- 1 中妻工区…県道の幅広路肩工と物件補償
- 2 沢田工区…側道橋上部工と歩道工
- 3 落合工区…測量設計

7月13日、南会津町「丸山館」において、県道高隴田島線改修促進期成同盟会総会が開催され、町議会議員が出席しました。

県道高隴田島線は大切な生活道路であることは言うまでもなく、国道121号線のバイパス機能を持った重要路線であります。

昭和59年に発足してから30年余りが過ぎ、着実に道路状況は改善されてきています。下郷町と南会津町が力を合わせて、県関係機関に要望活動を行ってきた成果が、形になって現れています。

福島県南会津建設事務所からは、本年度の3つの事業概要が説明されました。

また、総会終了後、長野地区の県道高隴田島線を現地視察して、新たな課題を話し合いました。

平成 29 年度
一般会計補正予算 (第 2 号)

可決!

第 1 回

臨時会

6 月 29 日に臨時会が招集され、多目的交流施設等設計委託料 22,000 千円とそれに係る関連予算 1,567 千円を削除した一般会計補正予算 (第 2 号) が町長より提出された。議長を除く 11 名で、起立採決により行われ賛成多数で可決された。

(単位：千円)

区 分	一般会計補正予算(第1号)	一般会計補正予算(第2号)	比 較
	65,335	43,551	△21,784
補正額	【歳入】		
	総務費国庫補助金	19,556千円を⇒ 7,772千円に減額	△11,784
	財政調整基金繰入金	30,000千円を⇒ 20,000千円に減額	△10,000
	【歳出】		
総務費企画費	34,112千円を⇒ 10,545千円に減額	△23,567	
予 備 費	△8,040千円を⇒ △6,257千円に増額	1,783	
総 額	4,895,335	4,873,551	△21,784

一般会計補正予算 (第 2 号)

◇歳入の主なもの

◇歳出の主なもの

(単位：千円)

地方創生推進交付金	7,772	湯野上地域整備事業実施 支援業務委託料	3,509
原子力災害対応雇用支援事業補助金	7,552	景観形成事業基礎調査業務 委託料	4,536
道の駅水道管移設補償金	5,000	観光協会補助金 (地方創生推進交付金)	3,000
コミュニティ助成事業補助金	2,500	コミュニティ助成事業 (湯野上区防犯灯)	2,500

湯野上地域整備事業実施支援業務委託料

問 この委託費は、湯野上温泉駅の駐車場や夫婦岩だと思いが、具体的にどのようにするのか。

答 駐車場・遊歩道・夫婦岩展望台など、どこにできるかの基礎調査と考える。

問 大島地区の駅の駐車場は、出入りしにくい・止めにくい。遊歩道は、道路・線路・大川に挟まれ確保できるのか。いつまでに調査するのか。成果品が出てくるのか。

答 今年度中に報告書を提出する。

景観形成事業基礎調査業務委託料

問 町全体というが、この目的と今後の結果をどう活用するのか。

答 大内伝建地区を有しているため国から「景観計画を策定してはどうか」通知があり、2カ年で計画。本年度は基礎調査、町民の意見を聴くためアンケート実施、次年度は景観計画を策定したい。

問 具体的に通知はどこから。将来、原資はどのように確保していくのか。

答 総務省からで、原資は今のところは未定。建築物の届けは必要になるが条例より緩やかにできる。デザイン・色彩も町の意向が反映できる。景観を守るメリットはある。計画だけは策定したい。条例制定は今後の課題である。

問 規制ができるというが、その場合他は補助金を出している。その財源をどうするのか。他団体も調査する必要があるのではないか。

答 県内10市町村が策定。南会津町などを参考に将来的な補助等を検討していく。景観計画策定は町民の理解が大事と考える。

観光協会補助金について

問 観光協会に300万円、内容を詳しく。理由は何か。

答 紅葉時期、冬のマスコミプレスツアーや、インバウンド対策としてモニターツアーを9月10月に計画、栃木との広域ツアーモデルコースの計画も考えている。観光協会はすでに3,500万円の風評対策事業で各種モニターツアーを実施している。

問 広域ツアーモデルコースには、どのような自治体が入っているのか。

答 那須白河会津観光協議会に加盟している那須町、白河市、西郷村、天栄村、会津美里町、下郷町である。

問 広域の観光ルートにおいては、町内への宿泊等を伴うツアーの作り方が必要になるのではないか。

答 議員のアドバイスをうけ早速、湯野上温泉に宿泊いただけるようしっかり研究していく。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

花でもてなす 交流のまち 下郷!

ベコニア・マリーゴールド・サルビアの苗木800本が、今年も老人会38名の方々によって、1本1本ていねいに植えられました。

国道289号線は、下郷町だけでなく会津地方の玄関口でもある。

「よく来やったね!のおもてなしになれば。」という願いの込められた花壇である。



国道289号線沿線の植栽作業(6月)
張平地区老人会(伸寿会)のみなさん



倉水区では、まちを訪れるお客様を「美しい景観でお迎えしよう!」と「長寿の水」駐車場に花の植栽が行われました。

各地域でも、沢山のの方々により、道路沿いの花壇などに花の植栽が行われていました。

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長	猪股謙喜
副委員長	山名田久美子
委員	玉川邦夫
委員	小椋淑孝

(山名田久美子)

たちあおいの花が大空に向かい咲く頃、下郷町青年の主張発表会がありました。素直な自分の考えを、一人一人主張し、下郷町のこれからの担う児童・生徒のすばらしい発表に心が洗われました。初心に戻り、活動していく大切さを学んだように思います。

議会だよりも第80号になりました。町民の皆様にも読んでいただける紙面になるよう委員全員で取り組んでまいります。

編集後記